

| | | | |
|----------|---|-------------|---|
| 科目 | 国語 (Japanese Language and Literature) | | |
| 担当教員 | 田林 千尋 非常勤講師 | | |
| 対象学年等 | 電気工学科・4年・前期・必修・1単位 (学修単位I) | | |
| 学習・教育目標 | B1(100%) | JABEE基準1(1) | (d)2-b.(f) |
| 授業の概要と方針 | 本授業の目的は、日本語コミュニケーション能力の向上である。とくに論理的文章を書く技術を身に着けることに重きをおく。そのうえで、口頭発表における資料作成とその聞き取り等、理系に不可欠なコミュニケーション能力を伸ばすことを目指す。 | | |
| | 到達目標 | 達成度 | 到達目標毎の評価方法と基準 |
| 1 | 【B1】文章表現の基礎を習得する。 | | 話しことばと書きことばの違い、原稿用紙の使い方、文章表現・構成の注意点が身に着いているか、定期試験および授業中の発表、レポート、提出物により評価する。 |
| 2 | 【B1】論理的文章の基礎を習得する。 | | 文体が統一された論理的文章が書けるか、定期試験およびレポート、提出物により評価する。 |
| 3 | 【B1】論説文の書き方を習得する。 | | 資料・文献等の根拠に基づき、自己の意見を筋道を立てて述べるができるか、レポートにより評価する。 |
| 4 | 【B1】就職活動やビジネスの場で求められる文書の書き方を習得する。 | | それぞれの場面に適切なことばを用いた自己表現ができるか、授業中の発表、定期試験により評価する。 |
| 5 | 【B1】日常生活やビジネスの場における正しいことば遣いを習得する。 | | それぞれの場面に適したことば遣いが身についているか、定期試験により評価する。 |
| 6 | 【B1】口頭発表資料の作成方法を習得する。 | | わかりやすく、興味を持てる口頭発表資料が作成できるか、提出物により評価する。 |
| 7 | 【B1】口頭発表における自己表現の方法を習得する。 | | わかりやすく、興味を持てる口頭発表ができるか、授業中の演習発表、提出された提出物および定期試験により評価する。 |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 総合評価 | 成績は、試験85% レポート7% 提出物(説明文)3% 演習発表(口頭発表)5% として評価する。試験は、到達目標1・2・4・5・7について実施する。到達目標1・2・3・6・7については、提出物、演習発表により評価する。100点満点で60点以上を合格とする。 | | |
| テキスト | 佐藤嗣男ほか『日本語表現ガイダンス 情報の収集から発信まで』2002.3.おうふう そのほか、適時プリントを配布する。 | | |
| 参考書 | なし | | |
| 関連科目 | 三年「国語」 | | |
| 履修上の注意事項 | なし | | |

